

## 令和 3 年度の実業報告書

令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人灯す屋

### 1 事業の成果

令和 3 年度に実施した事業は以下のとおりである。

#### <空き物件の管理及び活用推進事業>

令和 3 年度は、「将来的に有田町に関わる人を増やしていくことを目指し、新規空き物件の改修及び運営を開始する」ことを当初目標に設定していた。結果、有田町白川に賃借物件を 1 軒、購入物件を 1 軒取得し、それぞれ「灯すラボ実験室 A（以下、実験室 A）」及び「灯すラボ実験室 B（以下、実験室 B）」と名付けた。実験室 A については、佐賀県庁の補助金を活用して改修を実施し、11 月末に工事を完了した。実験室 A は、コリビングスペース（他拠点居住者・中期滞在者向けのシェアハウス及びコワーキングスペースの機能を有する）として活用を進めていく予定で、2～3 月にモニター利用を実施し 4 名の方々に活用して頂いた。令和 4 年 5 月より一般の方々にも活用してもらう予定である。実験室 B については、未改修のまま、「うちやまポップアップ」という灯す屋が月 1 回主催するイベントの会場として利用を開始した（令和 4 年 1 月～）。現在、地域内外の人々に来場していただける人気のイベントとなっている。今後は、改修を令和 4 年度に実施し、シェアオフィス及び地域の交流スペースとしての機能を持つ場所として活用していく予定である。

その他、本年力を入れた事業はうちやま百貨店のリブランディングである。その目的は、元々空き店舗活用を目的に進めてきた「うちやま百貨店」というイベントを次のステップに進めるため、そして灯す屋の事業全体を見直し地域により大きく貢献するためである。本事業は佐賀県庁の補助金を活用し、株式会社和えるの伴走支援を受けながら進めてきた。結果として、灯す屋の新規プロジェクトとして「灯すラボ」という企画が生まれ、これをオンライン上に実装していく場所としての「うちやま百貨店ウェブサイト」（仮）を製作する方向で本事業を進めている。

#### <移住・定住支援事業>

令和 3 年度の当初目標は、令和 2 年度に引き続き、都市部への情報発信を強化することであった。例年、佐賀県庁と共に主催している「MEETUP! SAGA」という移住者交流イベントについては、今年度は「まち歩き＋トークイベント」という組み合わせで吉野ヶ里、小城、伊万里の 3 カ所にて実施し、その様子をまとめた記事を佐賀県庁移住支援室内のホームページにて発信した。その他、灯す屋の理事 3 名それぞれブログ（note）を作成し、月 1 回の発信を開始した。

#### <後継者育成支援事業>

令和 3 年度の当初目標は、ちゃん最中の売上を更に伸ばし、次年度以降の運営が継続できる状況をつくることであることであった。引き続き、上野事務局長を中心に、月 1 回の定期販売、オンライン販売、ふるさと納税（有田町、灯す屋）、最中種の卸販売など、多様な販売形式を継続し、目標としていた年間販売売上 660 万円を達成した（昨年度比＋398 万円）。箱数としては 3383 箱の最中を販売し、次年度以降の運営継続を達成した。その他、有田町内の事業者とのコラボレーションや最中種の卸先増加などを行い、有田町及び灯す屋との関係人口を増加することに寄与することができた。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の支出金額 (単位：千円)
① 空き物件の管理及び活用推進事業	有田町空き物件活用推進ミーティングを定期的を実施した。	(A) 毎月 1 回 (B) 灯す屋事業所 (C) 各回 10 人	(D) 空き物件所有者、空き物件活用希望者 (E) 1300 人	15519
	空き物件に関わる情報発信を実施した。また、相談窓口を開設した。(有田町委託)	(A) 毎日 (B) 灯す屋事業所 (C) 2 人	(D) 空き物件所有者、活用希望者 (E) 52 人	
	空き物件見学ツアーを実施した。(有田町委託)	(A) 年間 6 回 (B) 有田町内 (C) 2 人	(D) 空き物件活用希望者 (E) 11 人	
	空き店舗を活用したイベント (① うちやま百貨店、② うちやまポップアップ) を開催した。	(A) ① 11 月、② 1～3 月 (B) 有田内山地区 (C) 8 人	(D) 空き店舗所有者、出店者、町民等 (E) 3500 人	
	空き物件活用事業(灯すラボ実験室 A/B、アリタスタートアップハウス)を実施した。	(A) 通年 (B) 有田町内 (C) 4 人	(D) 灯すラボ利用者、移住(検討)者 (E) 8 人	
	うちやま百貨店のリブランディング事業を行った。	(A) 8～3 月 (B) 灯す屋事務所 (C) 3 人	(D) 移住検討者等 (E) 未定	
② 移住・定住支援事業	お試し住宅の管理運営を行った。(有田町委託)	(A) 4～3 月 (B) 有田町内 (C) 3 人	(D) 移住希望者 (E) 6 人	2073
	移住の相談窓口を開設した。	(A) 4～3 月 (B) 有田町内 (C) 2 人	(D) 移住希望者 (E) 52 人	
	移住者交流イベントを実施した。(佐賀県委託事業)	(A) 年 3 回 (B) 吉野ヶ里、小城、伊万里 (C) 5 人	(D) 移住者、地元在住者 (E) 各 10 人	

	地域おこし協力隊の伴走支援を実施した。(有田町委託事業)	(A)毎月1回 (B)有田町 (C)2人	(D)役場、地域おこし協力隊 (E)4人	
③後継者育成支援事業	ちやわん最中の販売及びイベント企画運営を実施した。(佐賀県補助事業)	(A)通年 (B)灯す屋事務所 (C)6人	(D)町民、観光客、事業者 (E)10000人	18438

## (2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	事業費の支出金額 (単位：千円)
①物品販売事業	実施しなかった。	(A)－ (B)－ (C)－	－

※定款第5条に「その他の事業」を定めていない場合は、表を削除

(備考)

- 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 2(2)には、定款上「その他の事業」に関する事項を定めているものの、当該事業年度にその他の事業を実施しなかった場合、「実施しなかった」と記載する。
- 「事業費の支出金額」欄は、活動計算書の「管理費」は含まない。